

平成 26 年度 第 2 回心理学教育 FD/ICT 活用研究委員会 議事概要

- I. 日 時：平成 26 年 7 月 19 日(土) 14：00～16：20
- II. 場 所：私立大学情報教育協会 事務局 会議室
- III. 出席者：木村委員長、松田委員、今井委員、横山委員、大島委員、片受委員
井端事務局長。森下主幹
- IV. 資料
 - ① 心理学教育におけるアクティブ・ラーニング事例研究開催要項(案)
 - ② 心理学教育 FD 対話集会の内容案参考 1 「「学ぶ」から「できる」へ～経営系科目のアクティブ・ラーニング～」(論文)
参考 2 「アクティブ・ラーニングとはなにか」(論文)
その他 平成 26 年度委員会名簿。前回議事録
- V. 議事内容
 1. アクティブ・ラーニング事例研究の対話集会の進め方について
資料①のアクティブ・ラーニング事例研究対話集会のプログラム内容について検討を行い、委員から以下の事例が紹介された。
 - ① 上智大学で実施している事例
留学生用のプログラムとして開発されたが心理学にも応用して実施している事例
ファシリテーターを用いた授業例としての心理学演習 I A・I B
授業の目標は「演習」の進め方を実践的に学ぶ
方法 心理学の英語原書を読む
概要 担当者：心理学科専任教員 各学期 2 名 (年によって交代)
参加者：心理学科 1 年生 55-60 名 + 編入生 3-4 名 + 留年/休学者
TA 3 名 (大学院生)、ボランティア学生 10-17 名 (4 年生)
教室：メイン教室 + 7 教室 (計 8 教室)
1 年次のグループ学修で調査し取りまとめ発表させる。
何を調べ、何をやったかがポイント
 - ② 東洋大学での LMS を用いたアクティブ・ラーニング事例
 - ③ 学習院大学での心理学演習の事例
心理学実験演習 II 心理学科の 3 年次必修科目
実験演習 I (2 年次) と卒業論文 (4 年次) とを繋ぐ位置づけ
約 25 名のグループ学習で 1 グループあたり 5 週間 (5 回) の授業
 - ・テーマを決めて。グループを作る
 - ・具体的な研究方法を決める
 - ・実験の準備を行う
 - ・データの分析を行う
 - ・成果発表会
 - ・事前レポート
 - ・事後レポート ポスター発表

以上の議論の結果。当日の話題提供者として学習院大学 今井委員と上智大学横山委員
にお願いすることになった。

これにともない。日程。演題等のプログラム内容を以下のように決定した。

実施日時 平成27年3月17日(火) 14:00~16:00

実施場所 学習院大学 目白キャンパス

実施内容

(1) 開催趣旨説明とこれまでの研究の経緯 木村委員長

(2) 様々なアクティブ・ラーニングの取り組みに関する話題提供

①「チーム学修で課題に取り組む実験演習の工夫」

今井 久登 氏 (学習院大学 文学部 教授)

②「ファシリテータを用いた教え合い学び合い学修」

横山 恭子 氏 (上智大学 総合人間科学部 教授)

司会進行 大島委員

2. 対話集会に向けた今後の進め方について

対話集会の会場(学修院大学)利用可否について。今井委員に確認いただき。最終的な開催日を決定することになった。また。案内文の作成。配布に関しては。事務局に一任することになった

以上